2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月５日

上場会社名	ザインエレクトロニクス株式会社		上場取引所　東
コード番号	6769		ＵＲＬ　https://www.thine.co.jp/
代表者　（役職名）	代表取締役社長	（氏名）南　洋一郎	
問合せ先責任者　（役職名）	取締役総務部長	（氏名）山本　武男	ＴＥＬ　03（5217）6660
配当支払開始予定日	―		

決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	5,845	123.7	△351	―	△266	―	△185	―
2025年12月期第３四半期	2,613	△12.9	△470	―	△621	―	△529	―

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　△51百万円（－%）　2025年12月期第３四半期　△525百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	△17.59	―
2025年12月期第３四半期	△49.56	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	10,691	8,793	80.2
2025年12月期	9,665	8,917	90.4

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　8,577百万円　2025年12月期　8,735百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	15.00	15.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期（予想）				15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,609	85.6	13	―	85	―	107	―	10.19

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規　― 社　（社名）　　、除外　― 社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

② ①以外の会計方針の変更　：無

③ 会計上の見積りの変更　：無

④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	12,340,100株	2025年12月期	12,340,100株
② 期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	1,755,537株	2025年12月期	1,627,737株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	10,541,494株	2025年12月期３Ｑ	10,688,392株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提については、添付資料３ページ「（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（会計方針の変更） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、雇用・所得環境が改善し緩やかな回復基調で推移した一方、資源価格の高騰、物価上昇への懸念や中東情勢の緊迫化等の不安定な世界情勢により先行きの不透明感が継続しております。このような環境の下で、当社グループは2027年度を目標年次とする中期経営戦略「Innovate100」を推進しております。半導体、AI/IoTソリューション等から成る事業ポートフォリオを活かしつつ、今後の経済社会において、AI活用ユースケースの適用加速に寄与する革新的なソリューションを提供し、経済社会の生産性向上に取り組み、2027年度に連結売上高100億円超の実現を目指します。

当第３四半期連結累計期間の売上高は、LSI事業では、国内市場においてはOA機器市場向けがやや低調に推移しましたが、アミューズメント機器市場向けでは需要の回復傾向が見え始め、また海外市場においても中国、米国向け等において順調に推移し、全体として前期比14.6%の増加になりました。AIOT事業では、前期第３四半期より量産出荷を本格開始したスマートメーター向け製品の出荷が順調に増加し、また製造コスト増加に伴う販売価格改定の影響もあり、前期比333.5%の大幅な増加となりました。これらの結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は、58億45百万円（前期比123.7%増）となり、売上総利益は18億72百万円（前期比32.5%増）となりました。販売費および一般管理費については、中期経営戦略「Innovate100」目標の達成に向けた戦略的な研究開発投資（12億29百万円、前期比32.0%増）を積極的に行った結果、販売費および一般管理費全体として、22億24百万円（前期比18.0%増）となりました。これらの結果、当第３四半期連結累計期間の営業損失は３億51百万円（前期は営業損失４億70百万円）、減価償却費およびのれん償却費等を考慮しない営業利益（EBITDA※）はマイナス３億６百万円（前期はマイナス４億15百万円）となりました。また、助成金収入等を計上したことにより経常損失は２億66百万円（前期は経常損失６億21百万円）、保有する投資有価証券の一部を売却したことによる投資有価証券売却益を１億84百万円計上したこと等により親会社株主に帰属する四半期純損失は１億85百万円（前期は親会社株主に帰属する四半期純損失５億29百万円）となりました。

※　EBITDA（Earnings before Interest, Taxes, Depreciation and Amortization）
当社グループでは簡易的に営業利益に減価償却費、のれん償却費を加えて算出しております。

（セグメント別の状況）

当社グループは、LSI事業とAIOT事業を軸として事業活動を推進しており、これらを事業セグメント区分としております。

（単位：百万円）

		2026年12月期 第３四半期	2025年12月期 第３四半期	増減率（%）
LSI事業	売上高	1,969	1,719	＋14.6
	営業利益	△646	△403	―
	EBITDA	△605	△351	―
AIOT事業	売上高	3,876	894	＋333.5
	営業利益	295	△67	―
	EBITDA	299	△64	―
合計	売上高	5,845	2,613	＋123.7
	営業利益	△351	△470	―
	EBITDA	△306	△415	―

※セグメント間の取引を相殺消去後の金額で記載しております。

（LSI事業）

当第３四半期連結累計期間のLSI事業の売上高は、国内および中国、米国市場等の海外市場とも順調に推移し、前期比14.6%の増加となりました。

産業機器市場向けビジネスは、LSI事業の売上全体の75%を占めております。OA機器市場向けはやや低調に推移いたしましたが、アミューズメント機器市場向けにおいては顧客の在庫調整等の影響が解消され始め、産業機器市場向け全体としては前期比23.7%の増加となりました。

車載機器市場向けビジネスは、LSI事業の売上全体の15%を占めております。EVパネル向け新製品等の拡販活動を継続し、中国および米国市場向けの製品出荷は順調に推移しましたが、車載機器市場向け全体としては前期比5.9%の減少となりました。

民生機器市場向けビジネスは、LSI事業の売上全体の10%を占めております。次世代高速インターフェース標準技術「V-by-One®HS plus Standard」の提供は順調に進行しておりますが、民生機器市場向け全体としては前期比7.2%の減少となりました。

これらの結果、LSI事業全体の売上高は19億69百万円（前期比14.6%増）、売上総利益は12億46百万円（前期比6.0%増）となりました。

当第３四半期連結累計期間においては、中期経営戦略「Innovate100」目標の達成に向けた戦略的な研究開発および次期中期経営戦略を含む中長期的な成長に向けた新規技術開発等を積極的に実施しました。EVパネル向け高速インターフェースV-by-One®HS新製品のラインアップ拡充、世界初のAIサーバー次世代コンピューティング向け低消費電力・低遅延光半導体製品の開発、新規電源製品の開発、センシング・ソリューションの開発、Beyond 5G無線通信用半導体技術の開発等を行い、これらの活動により、当第３四半期連結累計期間において研究開発費11億98百万円を計上しました。また、当社が進める光半導体新製品開発について、2026年３月に米国ロサンゼルスで開催された世界最大の光通信技術展である2026 Optical Fiber Communications Conference and Exhibition（OFC2026）への出展に続き、2026年９月に欧州（スペイン・マラガ）で開催された欧州最大の光通信技術展であるEuropean Conference on Optical Communications 2026（ECOC2026）においても当社独自のDSPレス光半導体２製品を出展し、ご来場頂いた多くの企業から高いご関心を頂きました。今後、次世代通信規格であるPCI Express6.0に対応した光半導体チップセットを2027年に、そしてPCI Express7.0に対応した光半導体チップセットを2028年にそれぞれ量産出荷する計画で開発を加速して参ります。なお、これらの製品の開発は、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の助成事業の支援を受けて進めております。

これらの結果、LSI事業の当第３四半期連結累計期間における営業損失は６億46百万円（前期は営業損失４億３百万円）、EBITDAはマイナス６億５百万円（前期はマイナス３億51百万円）となりました。

（AIOT事業）

当第３四半期連結累計期間のAIOT事業の売上高は、前期第３四半期より量産出荷を本格開始したスマートメーター向け製品の出荷が順調に増加し、また製造コストの増加に伴い製品販売価格を改定したこと等の影響により通信モジュール製品売上が前期比で426.4%増と大幅に増加したこと等により、前期比で333.5%の大幅な増加となりました。これらの結果、AIOT事業の売上高は38億76百万円（前期比333.5%増）、売上総利益は６億26百万円（前期比162.7%増）となりました。

当第３四半期連結累計期間においては、AI・IoTを活用する新ニーズの拡大による新しいアプリケーション市場の拡大を見据えたソリューションの開発に取り組み、エッジAI処理用モジュール製品の開発、音声通話機能付きゲートウェイ新製品の開発、スマートIoTルーターの開発、スマート枕の開発等を行い、全体として研究開発費30百万円を計上いたしました。

これらの結果、AIOT事業の当第３四半期連結累計期間における営業利益は２億95百万円（前期は営業損失67百万円）、EBITDAは２億99百万円（前期はマイナス64百万円）となりました。

※「V-by-One」はザインエレクトロニクス株式会社の登録商標です。

（２）財政状態に関する説明

（キャッシュ・フローの状況）

当第３四半期連結累計期間における、営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純損失を77百万円計上し、棚卸資産が１億56百万円増加した一方、売上債権が２億66百万円減少したことおよび仕入債務が９億62百万円増加したことにより８億87百万円のプラスとなりました。（前期は４億33百万円のマイナス）

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、投資有価証券の取得による支出75百万円があった一方、投資有価証券の売却２億98百万円等により１億74百万円のプラスとなりました。（前年同期は２億１百万円のプラス）

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払１億57百万円等により１億12百万円のマイナスとなりました。（前年同期は１億66百万円のマイナス）

これらの結果により、現金及び現金同等物は全体として９億42百万円増加して当第３四半期連結会計期間末残高は73億97百万円となりました。

当社グループとしては、機動的な研究開発リソースの確保やM&Aの機会に迅速に対応できるよう内部留保を厚くする方針であり、資金運用に関しても流動性を重視した運用を行うこととしております。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の通期連結業績予想については、2026年２月５日及び７月21日に公表しました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2026年11月５日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,454,287	7,397,205
売掛金	1,482,974	1,246,261
商品及び製品	666,102	758,834
仕掛品	138,946	147,179
原材料	129,439	190,847
その他	250,593	321,265
流動資産合計	9,122,344	10,061,594
固定資産		
有形固定資産	135,023	158,324
無形固定資産		
その他	50,680	45,540
無形固定資産合計	50,680	45,540
投資その他の資産		
投資有価証券	257,938	317,522
繰延税金資産	13,483	21,857
その他	85,995	86,915
投資その他の資産合計	357,417	426,296
固定資産合計	543,120	630,161
資産合計	9,665,465	10,691,756
負債の部		
流動負債		
買掛金	302,420	1,268,107
未払法人税等	3,810	77,880
賞与引当金	53,418	88,588
その他	244,486	279,737
流動負債合計	604,135	1,714,313
固定負債		
繰延税金負債	－	26,521
退職給付に係る負債	29,622	31,620
資産除去債務	27,224	27,397
その他	87,113	98,539
固定負債合計	143,960	184,078
負債合計	748,096	1,898,391
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,175,267	1,175,267
資本剰余金	1,260,730	1,235,028
利益剰余金	8,718,487	8,375,386
自己株式	△2,472,329	△2,374,642
株主資本合計	8,682,155	8,411,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△28,059	60,092
為替換算調整勘定	81,584	106,862
その他の包括利益累計額合計	53,524	166,955
新株予約権	87,909	103,733
非支配株主持分	93,779	111,636
純資産合計	8,917,368	8,793,364
負債純資産合計	9,665,465	10,691,756

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	2,613,383	5,845,776
売上原価	1,199,312	3,972,803
売上総利益	1,414,071	1,872,972
販売費及び一般管理費	1,884,630	2,224,207
営業損失（△）	△470,558	△351,235
営業外収益		
受取利息	7,528	11,976
受取配当金	100	100
補助金収入	－	87,671
雑収入	4,059	2,578
営業外収益合計	11,688	102,325
営業外費用		
支払利息	55	－
為替差損	154,197	4,258
投資事業組合運用損	7,888	13,364
営業外費用合計	162,141	17,622
経常損失（△）	△621,011	△266,531
特別利益		
投資有価証券売却益	134,341	184,261
固定資産売却益	－	2,072
新株予約権戻入益	14,820	2,288
特別利益合計	149,161	188,623
特別損失		
固定資産除却損	823	－
特別損失合計	823	－
税金等調整前四半期純損失（△）	△472,673	△77,908
法人税、住民税及び事業税	29,087	95,024
法人税等還付税額	△3,185	－
法人税等調整額	46,382	△8,374
法人税等合計	72,284	86,649
四半期純損失（△）	△544,958	△164,558
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△15,291	20,857
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△529,667	△185,415

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純損失（△）	△544,958	△164,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,396	88,152
為替換算調整勘定	16,043	25,278
その他の包括利益合計	19,440	113,430
四半期包括利益	△525,517	△51,128
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△510,226	△71,985
非支配株主に係る四半期包括利益	△15,291	20,857

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△472,673	△77,908
減価償却費	55,415	45,166
株式報酬費用	12,417	30,092
新株予約権戻入益	△14,820	△2,288
賞与引当金の増減額（△は減少）	21,968	35,169
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△656	1,998
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△11,065	－
投資事業組合運用損益（△は益）	9,390	14,866
投資有価証券売却損益（△は益）	△134,341	△184,261
受取利息及び受取配当金	△7,628	△12,076
助成金収入	－	△87,671
支払利息	55	－
為替差損益（△は益）	125,883	6,904
雑収入	△1,012	－
売上債権の増減額（△は増加）	474,980	266,630
棚卸資産の増減額（△は増加）	△469,296	△156,510
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△53,959	△92,069
仕入債務の増減額（△は減少）	188,019	962,762
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△76,599	22,518
その他	△3,062	9,958
小計	△356,984	783,282
利息及び配当金の受取額	7,653	11,657
助成金の受取額	－	87,671
利息の支払額	△55	－
法人税等の支払額	△87,609	△19,778
法人税等の還付額	3,185	24,510
営業活動によるキャッシュ・フロー	△433,810	887,343
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△18,367	△52,867
固定資産の売却による収入	－	2,427
敷金及び保証金の差入による支出	△588	－
敷金及び保証金の回収による収入	783	69
投資有価証券の取得による支出	△75,000	△75,000
投資有価証券の売却による収入	291,854	298,135
投資事業組合からの分配による収入	1,012	2,100
その他	1,769	△142
投資活動によるキャッシュ・フロー	201,463	174,722
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△160,205	△157,685
非支配株主への配当金の支払額	△6,000	△3,000
ストックオプションの行使による収入	26,414	48,641
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△26,698	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△166,489	△112,043
現金及び現金同等物に係る換算差額	△116,196	△7,103
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△515,033	942,918
現金及び現金同等物の期首残高	7,306,140	6,454,287
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,791,106	7,397,205

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	LSI事業	AIOT事業	合計		
売上高					
日本	966,215	741,529	1,707,744	－	1,707,744
韓国	92,634	－	92,634	－	92,634
台湾	90,248	－	90,248	－	90,248
中国	306,573	152,655	459,229	－	459,229
米国他	263,527	－	263,527	－	263,527
顧客との契約から生じる収益	1,719,198	894,185	2,613,383	－	2,613,383
その他の収益	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	1,719,198	894,185	2,613,383	－	2,613,383
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	1,719,198	894,185	2,613,383	－	2,613,383
セグメント利益又は損失（△）	△403,088	△67,470	△470,558	－	△470,558

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	LSI事業	AIOT事業	合計		
売上高					
日本	1,063,910	3,687,258	4,751,168	－	4,751,168
韓国	82,633	255	82,888	－	82,888
台湾	130,244	279	130,524	－	130,524
中国	399,173	178,396	577,570	－	577,570
米国他	293,402	10,221	303,623	－	303,623
顧客との契約から生じる収益	1,969,365	3,876,411	5,845,776	－	5,845,776
その他の収益	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	1,969,365	3,876,411	5,845,776	－	5,845,776
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	1,969,365	3,876,411	5,845,776	－	5,845,776
セグメント利益又は損失（△）	△646,894	295,659	△351,235	－	△351,235

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。